

《研究課題名・セミナー名等・調査課題名》

笠間焼の新たな販路開拓のための業務用食器に関する知識普及事業

《申請者》

フリガナ : カマヤキギョウムヨウシヨツケンキョウカイ カイゾウ カブ コウザンガマ マズブチ コウジ
団体名 : 笠間焼業務用食器研究会
職位・氏名 : 会長 (株)向山窯 増淵 浩二

《研究・セミナー等・調査の概要》

笠間焼は手作り中心の非量産型の小規模生産産地（笠間周辺地区で約 300 窯元）であり、手作りのオリジナルな食器を中心とした産地であり首都圏に近いことから『陶炎祭』等のイベントや個展での直接販売を中心に行っている。しかしながらイベントだよりのため需要の変動が大きく安定しない現状や最近の陶磁器需要の減少もあり、新たな販路開拓が求められている。

そのような中で和食を中心とした業務用食器の分野の中から笠間の良さ（手作りでオリジナルな器で首都圏に近い優位性）を活かした業務用食器の分野の開拓を目指すと共に合わせて笠間焼の技術力の向上を図ることを目的とする。

日本の文化や日本料理の基本をセミナーや勉強会を通して器への理解を深めた上で食器作りに反映させる。

1. 業務用食器に関するセミナーの開催
2. 業務用食器視察会の開催
3. 商品企画勉強会や試作開発の実施
・ 器のデザイン企画とサンプル器の試作
4. 料理関係者向け展示発表会の開催